

# たのしい たのしい 船穂校♪

倉敷市立船穂小学校 横山文朗

## 美しい学校にするために

小学生が教室や廊下、運動場の清掃をすることは、ごくあたりまえのことに思えます。しかし、子どもたちだけで学校の清掃をするのは、日本をはじめ東アジアの数ヶ国だけだそうで、ヨーロッパやアメリカでは清掃は業者の人が行い子どもたちに清掃はさせないそうです。日本で子どもたちに清掃をさせるのは、建物や敷地を美しく保つということに加え、清掃活動に教育的な意味をおいているからだと思います。自分たちの学校をきれいにしようとする気持ちを育て自分の学校に対する所属感を持たせる、奉仕の心を育てる、自分の責任を果たそうとする態度を養うなどのねらいが清掃時間にはあります。

本校の子どもたちの多くは以前からまじめに清掃に取り組んできました。その良さをさらに高め、子どもたちが「船穂小学校は、倉敷市で一番清掃をがんばる学校」と自覚できるようにしようと夏季休業中に職員会議を持ちました。そして、今、次のことを中心に全校で取り組んでいます。

- ・各人の分担をはっきりさせ、清掃の仕方を指導する。
- ・黙って清掃することを徹底する。
- ・終わりの反省をきちんとし、がんばったことを認め合える時間にする。
- ・職員も児童とともに全員が清掃をする。

二学期が始まって二週間になりますが、以前にも増して子どもたちは清掃をがんばっています。清掃時間の話し声もほとんど聞かれないようになりました。また、運動場や花壇の草取りも各学年の分担を決め全校でがんばったのでずいぶんきれいになりました。子どもたちと職員が同じ思いで取り組んだことは、授業態度や児童朝会や学校行事への参加態度や廊下の歩き方などにもよい影響を与えていると思います。

職員と子どもたち皆が胸を張って「船穂小学校は、倉敷市で一番清掃をがんばる学校です。」といえるようがんばっていきたいと思っています。

